香川県高等学校体育連盟

体操専門部

県総体開催にあたっての安全対策ガイドライン

１　大会を開催するにあたって

（１）大会参加の有無は各高校に任せる。（強要はしない）

（２）原則、無観客試合とし、会場への出入りは試合当日に出場する選手及びマネージャー、応援生徒、顧問、引率者、役員のみとする。競技終了後生徒は会場から速やかに退出し帰宅させる。ただし、大会委員長が特別に認めた者（令和４年度全国高校総体関係者等）についてはこの限りではない。

（３）参加校の顧問は、必ず選手及び保護者から大会参加の承諾をとり、校長の責任のもとに申し込みを行う。

（４）発熱（37.5℃以上）等の症状が見られる選手がいた場合、その選手の大会出場は認めない。大会中に関しても引率者は選手等の健康観察を徹底し、仮に発熱等が見られた場合は速やかに帰宅させる。

（５）参加者は大会等の２週間前後の健康チェックシート表を記録し、その表は学校ごとに保管する。

（６）大会等の開催前後で、参加者の中から感染者等が判明した場合、「学校における感染症予防対策ガイドライン別添資料2020.8 Ver.2」（令和２年８月県教育委員会策）に基づき対応する。

２　大会中の具体的な感染防止対策

（１）競技会場において、練習時・競技時以外はマスクを着用すること。（不織布マスク奨励）

（２）主に参加者の手が触れる場所をアルコールや次亜塩素酸ナトリウムを含有したもので拭き取りを定期的に行う。

（３）会場出入口には消毒薬を設置し、トイレには石鹸等を準備し、こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒をすること。

（４）密閉空間を避けるため、定期的に会場内に外気を入れる換気を行う。空調や衣服による温度調節を含めて、温度・湿度管理に努める。また熱中症にも注意する。

（５）密集場所を避けるため、人が集まる観覧席、控え所等では十分な間隔をとる。更衣室等の利用に当たっては短時間の利用としたり、一斉に利用したりしないなど留意する。

（６）密接場面を避けるため、握手やハイタッチ、肩を組むなどの身体接触を避け、近距離での会話や発声はしないようにするともに、応援は拍手のみで行う。

（７）大きな声を出しての「声がけ」や「カウントとり」は極力避けること。

（８）水分補給に関してはチーム共用を避け、個人のものを使用する。

（９）ごみ等はすべて持ち帰ること。

　（10）出場する選手及びマネージャー、応援生徒、顧問、監督、引率者は、試合当日に必ず各校にて検温を行う。役員は会場への入場の際に、必ず検温を行う。